



平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 A S J
代表者名 代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号：2351 東証マザーズ)
問合せ先 管理本部長 中島 茂喜
(Tel:048-259-5111)

**平成 27 年 3 月期特別損失計上及び
通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ**

当社は下記のとおり、特別損失を計上するとともに、平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）通期連結業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

中長期の成長を目的とした戦略の一環として、高い成長が期待される事業への集中を推し進め、経営資源の最適化・効率化のための整理を行った結果、今後の利用見込みがないと判断した固定資産について平成 27 年 3 月期に固定資産除却損 9 百万円を計上いたします。なお、当該処理におけるキャッシュ・フローへの影響はありません。

2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 5 月 15 日)	1,400 ～1,550	△50 ～0	△50 ～0	△50 ～0	△7 円 87 銭 ～0 円 00 銭
今回実績値 (B)	1,211	△23	△17	△39	△6 円 23 銭
増減額 (B - A) ※	△339 ～△189	△23 ～27	△17 ～33	△39 ～11	—
増減率 (%) ※	△21.9 ～△13.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	1,365	4	8	△95	△14 円 94 銭

3. 差異の理由

当社は、平成 27 年 3 月期連結会計年度の業績予想については、レンジ形式で開示しております。売上高につきましては、当期中にリリースを予定しておりました新規サービスについて、市場動向を鑑みた結果、平成 28 年 3 月期中の提供を目指すことといたしました。その結果、新規サービスによる売上の寄与が、来期以降に繰り越されることとなったこと及び、不採算サービスの縮小に伴う売上高の減少が、当初の計画を上回ったことにより、通期売上高について当初予想値を下回りました。

また、営業利益、経常利益及び、当期純利益につきましても、売上高が予想を下回ったこと及び新規サービス提供に向けた先行投資等による費用負担が発生しましたが、販売管理費の効率化等を推し進めた結果、レンジ内に収まる実績値となりました。

以上